

授業科目名： 保育内容の指導法(言葉)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 嶋田 優
			担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	学校現場での勤務経験を持つ教員が、保育内容(言葉)における指導計画の作成について指導する。		
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
<p>幼児の発達に即した、主体的・対話的で深い学びの追求</p> <p>幼児一人一人が経験・体験したこと、気づいたり感じたりしたことを、他の人に自分なりの言葉で表現し、相手から返された言葉にもしっかりと耳を傾ける姿勢や態度を身につけ、獲得した豊かな言葉を使って、幼児が和やかに話し合いの場が持てるように支援することができる。</p>			
授業の概要			
<p>目標を達成するためには、どのような指導計画のもとに、どのような活動計画を工夫し実践していけば、幼児が「やりたい!」という意欲を持って相手との話し合いを積極的に行うことができるのか。領域「言葉」のねらいを踏まえながら、実践に即した授業を進めていく。</p>			
授業計画			
<p>第1回:幼稚園教育の基本と領域「言葉」のねらいと内容 第2回:ことばの発達過程について:3歳~5歳にかけて 第3回:教室環境の構成とことば・文字遊び活動 第4回:文字の獲得とことばによる伝え合いの広がり 第5回:情報機器の活用とことば・文字遊びの事例紹介 第6回:読む力とことば・文字遊び活動の繋がり 第7回:ことば・文字遊びと対話力 第8回:指導計画と活動目標・活動計画のあり方 第9回:ことば・文字遊びの学年ごとの活動目標 第10回:年間保育活動計画を作成する上での留意点 第11回:他領域の年間保育活動計画案の事例紹介 第12回:年間保育活動計画案の事例についての話し合い 第13回:年間保育活動計画案の振り返りと評価・改善 第14回:ことば・文字の獲得と創意活動への意欲 第15回:卒園までに身につけたい領域「言葉」の内容と小学校への繋がり</p> <p>科目修得試験</p>			
スクーリングでの学修			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育の基本と領域「言葉」、言葉や文字の獲得と環境構成について学修する。 ・指導計画、及び年間保育活動計画の立案、活動計画案の考察と評価と改善について学修する。 			
テキスト			
文部科学省「幼稚園教育要領解説(平成30年3月)」フレーベル館 ISBN 978-4-577-81447-5			
参考書・参考資料等			
監修 無藤 隆「幼稚園教育要領ハンドブック」Gakken 2017年 978-4-05-800810-2			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			